

# 訪問看護・介護の現状と課題

訪問看護の経験知から  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護へ

社会福祉法人福寿会

定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所所長

教育担当責任者

村井真須美

訪問看護の課題： 2006年医療制度化改革  
病院の平均在院日数短縮により  
在宅点滴の数が増え繁忙

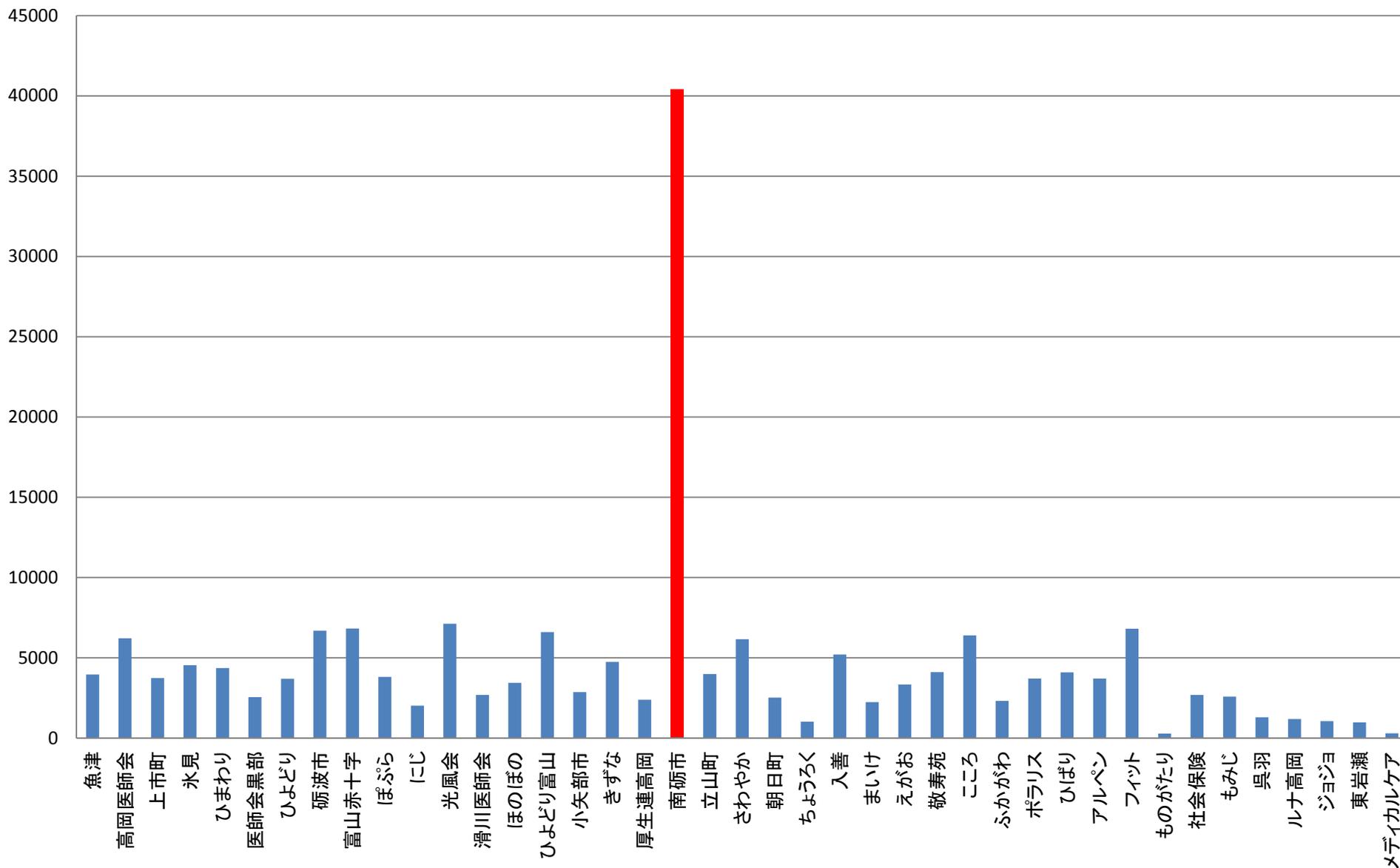


## そこで、取り組んだ4本の柱

- 1、訪問看護の依頼があれば、絶対断らず、すぐにかける。
- 2、訪問看護師自身が疲弊しない勤務ができること。
- 3、訪問看護を使えば「安心できる」と患者、家族、主治医から信頼が得られること。
- 4、専門職であることを忘れない、訪問看護師の教育・研修体制を確立すること。

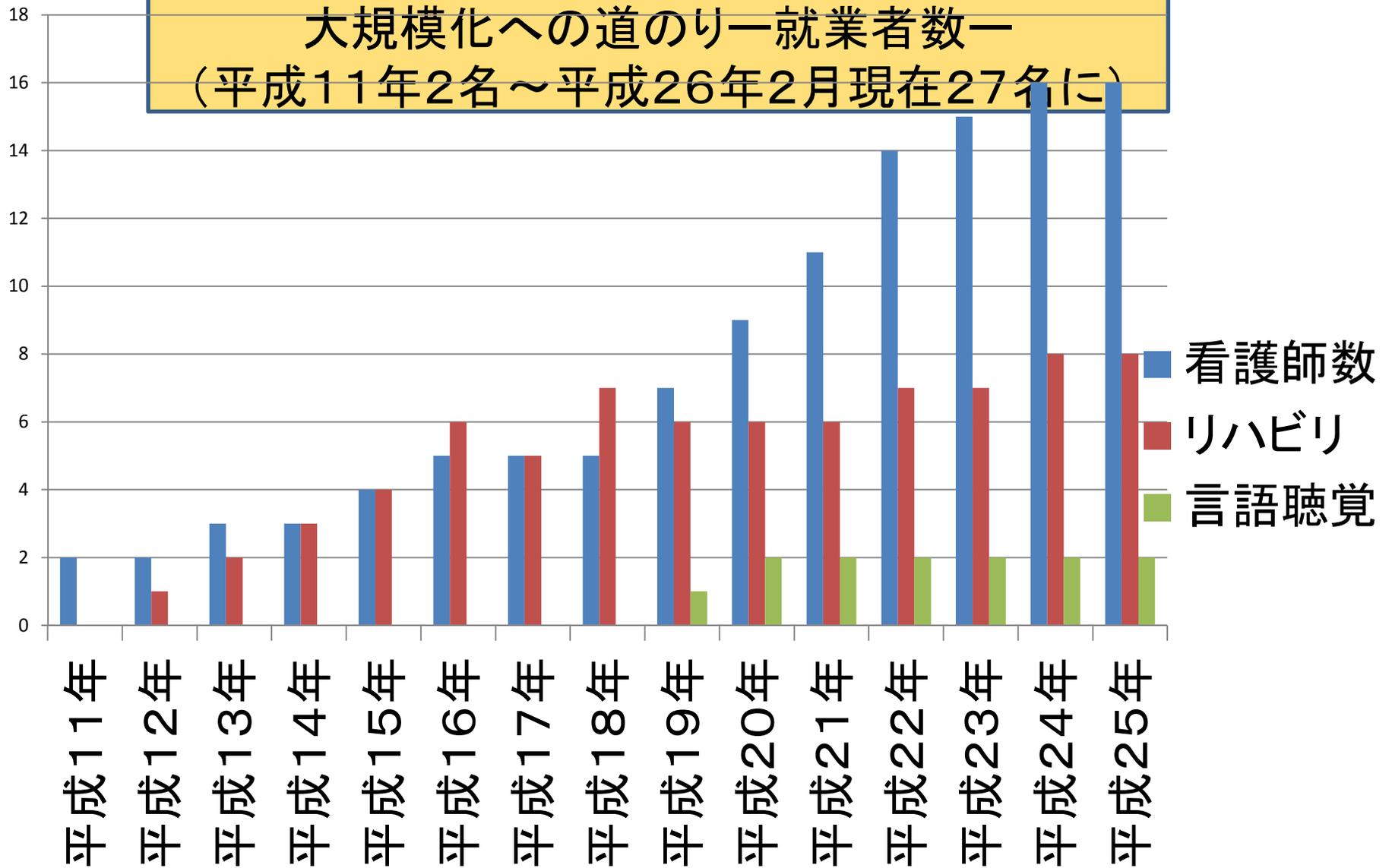
# 結果1

## 富山県内訪問看護・延べ訪問 件数が伸びました。(2013年県内比較)



結果  
2

# 職員数が増え県内大規模ステーションに



結果  
3

# “南砺市ナースプラクティショナー的 ナース・リハビリ養成講習会”



(富山大学実習室をお借りして、山城教授ご指導のもと模型で  
実習光景) 2010年から開始し、6年間継続してきました。  
自宅で肺音、心音を聴診器で聴く力が向上しました。

# 風光明媚な五箇山菅沼合掌づくり集落 とある家の中では・・・



世界遺産



老々世帯の自宅療養



# 訪問看護で見た自宅の課題

## 1、家族構成の変化

最初は同居家族がいた家も、高齢世帯のみが増え、どちらかが認知症、寝たきり

退職した息子と二人暮らし または独居など・・・

## 2、家の中の「世話」が不足

自宅で世話をする人手が不足し、健康状態が低下し、悪循環に陥る。

訪問看護で見えた課題を受けて  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護へ

自宅の中で起こった **3つの不足**

- 1、家庭内に不足する **“介護量の不足”**
- 2、24時間365日型の訪問介護がない。

**“サービスの不足”**

- 3、その上、介護人材が絶対的に不足。

**“人材の不足”**

# 結果1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に向けた 社会福祉法人福寿会での介護職員初任者研修事業



平成27年  
3月5日  
北日本新聞



## 結果2 人材創出の サイクルが回る。



初任者研修修了資格(15名)



今年度4月オープン！  
福野定期巡回サービス事業所



地域創生人材育成事業  
雇用型訓練(10名育成)



平成28年1月29日読売新聞  
記事

## 結語；自宅生活継続へ24時間型在宅医療・介護の構築

- 1、自宅は本人や看護師からみても、よい所だった。
  - ①本人にとっては、自分らしい生活のペースが保てる。  
馴染みの音、景色、近所の会話など日常がある。
  - ②看護師は、生活や価値観に応じた個別ケアが提供できる。
- 2、訪問看護の経験を活かし、質の高い訪問介護を作る。
  - ①依頼を断らない。
  - ②介護職を確保し、運営を工夫し介護職自身が疲れない。
  - ③本人・家族や医療職 地域の人々の信頼を得る。
  - ④教育・研修を通し、質の向上に努める。

訪問看護と協力し、定期巡回・随時対応型訪問介護で  
「自宅生活限界の壁」を押し広げる事に挑戦します。